



千葉市議会議員(花見川区)

だんぎ和彦

「みんなでつくる！身近な公園の使い方」

花見川区保健福祉センター3階大会議室にて

身近な公園の使い方・事例紹介交流会開催！

令和4年10月15日(土)13:30より、花見川区保健福祉センター3階大会議室において、「まなぶ！つながる！みんなでつくる！身近な公園の使い方・事例紹介交流会」が開催され、司会は柏井空き家で「フリースクール・テラコヤココカラ」を運営されている氏次めぐみさん、各項目のファシリテーターとして、発案者である佐藤紘孝さんのお二人を中心に進行いたしました。

開会後は、はじめに「公園利活用事例紹介」として、こどもカフェ幕張本郷の宮内さんより、「プレーパークとイッポンマルシェについて」、軒先珈琲の太田さん、社協さつきが丘・宮野木台地区部会の鈴木さん・綾部さんから「こてはし貝塚公園マルシェについて」お話しいただきました。

次に、「公園の抱える課題(ごみ問題)と花見川区の現状と今後」として、花見川稲毛公園緑地事務所の小川所長より、公園が抱える主な課題を含む「千葉市の都市公園・パークマネジメントについて」及び「新たなステージに向けた緑とオープンスペース政策の展開について」、花見川区・折原区長より、「花見川区地域カルテ」「花見川区地域活性化支援事業及び補助団体の活動報告等」についてお話しいただき、続いて、「地域ボランティアの募集について」では、花見川区社会福祉協議会の猪野所長、あんしんケアセンター幕張の鋤本さん・宮腰さん、千葉市こども未来局の宮内さん他、何名かの方々からお話しいただきました。また、どの項目においても活発な質疑応答が行われました。

最後にまとめとして、私から来年度公表予定の千葉市新基本計画を踏まえて、人口減少が予想される中で住民参加型のパークマネジメントは良い取り組みであること等についてお話をさせていただきました。交流会は閉会となりました。

「こどもーる」開催！

令和4年10月29日（土）幕張本郷一本松公園において、子どもたちの自立する力を育むことを目的に「こどもーる」が開催されました。「こどもーる」では小学生が自身で考え出店いたしますが、アクセサリやフラワーアレンジ、グルテンフリーのお菓子屋さんなど、ハンドメイドのお店がところ狭しと出店し、大人も楽しめる催しとなりました。



多くの親子連れで賑わう会場

一本松公園では、2015年より「冒険遊び場プレーパーク」を開催しており、本年10月より、新たに「幕張本郷一本松公園子ども会」が発足し、「こどもーる」の開催に至りました。

千葉市も多くの地域において超少子高齢化の影響を受けていますが、千葉市花見川区と習志野市の市境にあたる幕張本郷駅周辺は、働き盛りの生産年齢人口も多く、主に子どもを中心とした地域のイベントを通じて、子育て世代と高齢者や若者など、多様な地域人材をつないでおります。

こうしたイベントのみならず、毎月第3木曜日の15:00から17:00まで一本松公園の駐車場横においてロープ結びや木工などを行っています。さらに子どもたちは、地域の民生児童委員・あんしんケアセンター幕張・社会福祉協議会の皆様とともに公園のゴミ拾い活動を行なっています。

現在は、子どもたちを軸として活動を行なっていますが、多くの皆様に身近な公園の利活用や、地域の美化活動にご理解・ご賛同いただき、ご参加いただければとのことです。

花見川区の諸問題について

幕張町3丁目の、JR総武線と京成千葉線を跨ぐ花立踏切（市道幕張215号線）の立体交差事業は、昭和56年度に国庫補助事業として着手されましたが、事業費の増大や工期の長期間化等により平成23年度に中断され、再開予定の平成28年度を過ぎた現在も再開されておられません。

その後、幕張昆陽地下道が開通したこともあり、事業再開目途は「元気発信第91号」でお知らせいたしました「幕張本郷松波線」の整備完了後とすることが決定されておりますが、踏切近辺のガス管工事・水道管工事など整備も進み、続いて山側の歩道も整備される計画になっております。

引き続き、踏切及び周辺道路等の整備について進捗を見守って参りますが、当局には地元の皆様への十分な説明と意見交換を行いながら、地域の皆様の安全を第一に整備を進めるよう働きかけて参ります。